

～先天性風しん症候群の発生を予防するために～

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

・風しんの予防、感染の拡大防止には、予防接種が効果的です

- 風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。【風しんの定期予防接種対象者】
1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方は、多くの市区町村において、無料で受けられます。
- 女性は妊娠前に風しんの予防接種をご検討ください。
接種後2ヶ月は避妊が必要です。接種回数は子どもの頃の接種を含め2回です。
- 成人男性は接種することをご検討ください。
(風しんにかかったことがない方、風しんワクチンを受けていない方、どちらも不明の方)
2回接種しても問題はありません。
- 妊娠中の女性の家族は、風しんの予防接種をご検討ください。
妊婦は風しんの予防接種を受けられません。

・風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます

風しん抗体検査（福岡市、北九州市、久留米市及び大牟田市にお住まいの方を除く。）については下記にお問い合わせください。

※ お問い合わせ先 **がん感染症疾病対策課感染症対策係** 092-643-3268

このリーフレットは厚生労働省及び国立感染症研究所のものを基に、作成しました。



詳細な情報は県ホームページをご覧ください。

福岡県 風しん

検索